



Ayase

NO. 29 2020年 9月 19日 編集：綾瀬運輸区分会

3人の仲間が声を上げてくれました！

3名の仲間（TOさん・TAさん・KOさん）が、この間会社から受けた悪辣な懲憑の実態を暴露してくれました。3人とも共通していることもあり、支社のシナリオに基づき、不安が募るだけの懲憑、異動前提の懲憑が明らかになりました！

1. 3人とも「支社から異動の話が来ている。何か家庭の状況に変化はありますか。10月上旬、場所は調整中です」と突然言われ、異動先や異動時期を最初に示されず、不安な毎日を過ごした。
2. 「職種は何になりますか」「異動先はどうなりますか」など、支社から異動の話が来ていると言うにも関わらず、3人から求めに行かないと教えてもらえず、極めて不誠実であった。
3. 自己申告書や面談の内容どころか、最近のコミュニケーションの中身すら担当助役から区長へ伝わっておらず、区長も「聞いていない」とあっさり認めた。
4. 自己申告書や面談で「後輩の技術指導をしたいので、綾瀬運輸区現地現職」以外伝えていないのに、駅への懲憑をされた。また、面談の日にちを決めていたにも関わらず忘れられていて「何しに来たの？」のようなひどい扱いを受けた。

これが「新たな輸送サービスの価値の創造」
「究極の安全」「技術継承」が目指されるジョブローテーションなのか！

会社は「社員一人ひとりとしっかり向き合い、
一緒にキャリアを描きチャレンジや成長を支援している」と言えるのか！

ジョブローテーションは「すでに破たんしている！」
自己申告書や面談の意志・意向が尊重されない異動は強制転勤だ！
安全で風通しの良い健全な職場をつくり出すために、全組合員でたたかおう！